

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL(052)916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX(052)916-2308

2014. 7. 25
8. 10 合併号
No.1097

発行責任者 林 達也 定価 10円
組合員の購読料は組合費の中に含まれています

第12回地方自治研究 全国集会 in 滋賀

とき 9月27日(土)・28日(日)
ところ 滋賀県大津市ほか



「憲法と地方自治をいかに、安心してくらしを社会をめざそう」をメインスローガンに掲げた、自治労連愛知県本部第113回定期大会が、7月19日、日本ガイシフォーラムで開催されました。大会には32単組から135名の代議員・中央委員が参加。「強く大きな組織づくりで、労働者の権利、住民のいのち・くらしを守る自治労連運動を前進させよう」と3時間にわたり活発な討論を展開。組織の強化・拡大、住民生活を守る公務員共済サービスの拡充、そして組合員の要求実現など、2014年度の運動方針を確立、新役員を選出しました。

強く大きな組織づくりで 要求を実現させよう

憲法がいきる職場・地域

住民が主人公の自治体をめざそう

第113回
県本部
定期大会

大会ははじめに伊藤委員長が、「年間を通してすべての要求課題の実現と組織の拡大を両輪に、強く大きな自治労連運動を展開しよう」と主催者あいさつ。その後、来賓の野村自治労連本部委員長、樽松愛労連議長、日本共産党愛知県委員会のもとむら伸子さんから激励と連帯のあいさつをいただきました。はじめに碧南臨職労の加盟を承認。続いて、林書記



伊藤慎次執行委員長

住民との共同広げ、 悪政の壁突破しよう

① 国家公務員の7・8%賃下げを地方自治体・地方公務員にも押しつけようという動きが、政治の中からつくられた。今年の人事院勧告も政府の意向に

② 今年1000名を

長が「2014年度運動方針案」と「当面の闘争方針案」の議案を提案。早期の組合員2万人回復めざし、18組織強化中期計画のスタートの年度として、全単組で計画を策定し具体化をすすめる。など5つのたたかひの重点と構えや具体的などりくみを提起しました。

断をはかるもので断固反対(豊橋市職労)、「十数年ぶりの現業新採獲得で、職場が活性化」(春日井市職労)、「おきプロNEXTで学ぶ姿勢の大切さを実感」(蒲郡市職)など、積極的な発言があいつぎました。



沿って、公務員賃金の削減、地域間・職員間の格差拡大が狙われている。私たちの仕事・くらしを守るためにも悪政の壁を突破することが大事だ。職場から組合員も、非組合員も、管理職も含めた闘争を展開し、勧告準拠を迫る当局を包囲し、追い込んでいくたたかひが必要だ。

を超える新規組合員を迎えたが、前年比で300人弱の減。年間通じてすべての要求課題と合わせて、組織拡大を位置づけて奮闘していこう。自治労連、全労連を結成して25周年を11月に迎える。壮大な夢とロマンを感じる自治労連愛知の大運動を展開して、大きな強い組合であらゆる闘争を前進させよう。

伊藤県本部 委員長あいさつ

超える新規組合員を迎えたが、前年比で300人弱の減。年間通じてすべての要求課題と合わせて、組織拡大を位置づけて奮闘していこう。自治労連、全労連を結成して25周年を11月に迎える。壮大な夢とロマンを感じる自治労連愛知の大運動を展開して、大きな強い組合であらゆる闘争を前進させよう。

③ 安倍政権が7月1日に、集団的自衛権行使容認の閣議決定を強行した。私たちは、憲法遵守の責務を持つ公務員労働者として、住民との共同広げ、閣議決定を撤回させよう。愛知からおきプロNEXTに参加した100人を超える若者は、つながる、ということへの感動を共有した。新鮮な思いを、そして経験をいかし、今後の仕事や組合活動で、大きく力を発揮してくれることを期待したい。



中央行動に参加したあいちの仲間



全国一律最賃1000円以上の実現、公務員「給与制度の総合的見直し」反対などをかけ、7・25中央行動が東京で行われ、全国から2000人、愛知県本部から22人が参加しました。

「給与制度の総合的見直し」許すな! 7.25 中央行動で2000人が訴え

ニック・ルディコフ氏が連帯あいさつ。「生活できる賃金を支払わせることが世界的に求められている。劣悪な待遇におかれた労働者の賃金労働条件改善を求める日本の運動に連帯して奮闘する」と決意が述べられました。その後、厚労省・人事院前で賃金改善を求める要請行動が展開されました。

憲法と地方自治をいかし、 安心してくらせる社会をめざそう

大会 要旨 討論

自己責任ではなく
憲法25条を守らせる



津山代議員
(なごや介護労組)

介護保険制度改悪によつて、今までと同じサービスを受けられなくなる必要支援者。ボランティアでできるほど介護は甘い仕事ではない。政府が狙う個人や家族への自己責任の押しつけ許さず、憲法25条をしっかり守らせる。

出足早いとりくみが
新規獲得に重要



武藤代議員
(名古屋市職労)

他単組の組織拡大ニュースに励まされ、4月1日を準備万端で迎え、9日までに新人5割を組織。出足早く、そして粘り強い声かけが組織拡大には大切。すべての職場に組合活動

が見えることを目標に1
年間奮闘したい。

青年企画の学びを
単組の活動に実践



寺島代議員
(清須市職労)

県本部企画やおきプロNEXTを通して組合の楽しさ・大切さを実感。組織拡大をはじめとした単組での活動に実践している。県内の仲間とのつながりを力に、保育士の労働環境、保育新制度に対して、ともに立ち向かいたい。

直営で質の高い
仕事を追求する



柵木代議員
(西尾市職)

市民病院の給食委託問題について、単純なコスト削減目的の委託は許されない。患者ごとに細かく対応するなど評判の良い

給食を守るため、直営で質の高い仕事を追求する。
子どもたちに
平等な保育を



吉田代議員
(名古屋市職労)

来年4月施行の「子ども・子育て支援新制度」について、県本部保育所部会は各自治体当局へ要請・懇談。どこでも平等な保育が受けられるようめざす。

正規職員堅持へ
職務の専門性訴え



後藤代議員
(港職労)

港という特殊な職場で、スペシャリストの大切さを訴え、職員全員が正規という状況を堅持。今後は職種バランスを考慮した採用を求めていく。

政府の暴走阻止へ
学習と周知が大事



羽生代議員
(名古屋市職労)

集団的自衛権行使容認

や社会保障改悪は人権の侵害である。これに対して平和学習、機関紙による周知活動に努め、憲法と地方自治を生かした安心してくらせる社会をめざす。

100%加入実現
加入後の学習重視



片桐代議員
(岩倉市職)

今年も新人100%加入を実現した。加入後の新人合宿で、組合の大切さを学ぶとくみを重視。若い組合員と一緒に執行部でとりくみをすすめている。

新規採用実現で
現業職場が活性化



小林代議員
(春日井市職労)

粘り強い交渉の結果、十数年ぶりとなる現業職員の新規採用が実現。これが刺激となり、職場が活性化している。継続した新規採用の実現が、住民のために誇りを持って働ける職場づくりにつながる。現業職場全てでの新規採用めざして奮闘する。

市民に対して
責任持てる仕事を



加藤代議員
(名水労)

平和な世の中でこそ自治体職員が市民に対して責任ある仕事ができる。被災地支援の評価も得て、職員採用を実現させた。

組織拡大の魅力
響く提案が必要



市川代議員
(名古屋市職労)

「なぜ組織拡大をするのか」役員・組合員に響く議案が必要。数は力だ。賃下げ阻止のとくみで拡大の可能性がある。

集団的自衛権の行
使容認は許さない



加藤代議員
(豊橋市職労)

住民のいのちとくらしを守るために憲法違反の「集団的自衛権の行使容認」は許されない。憲法学習会の開催が大事。

給与制度の総合的
見直しに断固反対



伊藤代議員
(豊橋市職労)

地域間・世代間格差を払

大し、職員間を分断する「給与制度の総合的見直し」に断固反対。総学習を実施し、署名行動を展開した。全労働者の賃上げ、最賃引き上げが公務職場の賃金改善につながる。あきらめることなく前進を切り開く運動が大切だ。

県本部2014年度新役員

役職名	氏名	出身単組
執行委員長	伊藤 慎次	名古屋市職労
副執行委員長	鈴木 常浩	直属分会
書記	蛸原 京子	名古屋市職労
書記	長坂 圭造	名古屋市職労
書記	小川 薫	名古屋市職労
書記	林 達也	名古屋市職労
書記	伊藤 英一	名古屋市職労
書記	永井 和彦	直属分会
書記	大橋 宗明	名古屋市職労
書記	市川京之助	名古屋市職
書記	佐賀 達也	名古屋市職
書記	中根 徳男	名古屋市職
書記	石川 直洋	幸田町職労
書記	川野 道広	中水 水
書記	齊藤 節男	半田市職
書記	後藤 泰介	犬山市職
書記	宮前 啓子	あま市病職
書記	市江 弥生	清須市職
書記	徳田 好宣	名古屋市職
書記	近藤 夏樹	名古屋市職
書記	山本 由香	名古屋市職
書記	酒井 文子	名古屋市職
書記	岡田美穂子	名古屋市職
書記	村田 茂	名古屋市職
書記	杉浦 彰治	名古屋市職
書記	上四元直樹	名古屋市職
書記	中川 悟	直属分会
書記	平野 正一	直属分会
書記	吉良多喜夫	直属分会
書記	渡辺 敏基	名古屋市職
書記	梅野 敏基	名古屋市職

すべての労働者の賃上げと働くルールの確立で、 人間らしく働ける職場・地域をめざそう

今年の人勤に対しては県
問園とともに学習会を行
て働いていくことが大切



林達也書記長

執行部答弁

討論では財政小委員長を含めて25人が発言。頂いた意見は運動の具体化の中で生かしていきたい。

集团的自衛権の行使容認について。私たち公務員が安心して働き、住民が安心して暮らすことができる地域をつくるために競争する国

づくりは許されない。反対の立場で、この動きをストップさせたい。

人事院勧告で狙われている「給与制度の総合的見直し」について。公務の賃下げは、地域経済に打撃となり、格差が拡大し、賃上げムードに水を差す。自らの問題と正面から捉え「労働者全体の賃上げが大

事」と訴えて理解と共感を広げていくことが大切だ。最賃引き上げを含めた賃金改善に、非正規を含めた組織拡大と合わせてとり

くもう。職場からのたたかいついて。住民の命とくらしを守るのが公務の仕事である。その私たちの働きがいと確信に運動をすすめてよう。自問自答するだけでなく対話の中でそれを確認することが大事。私たちの要求、仕事をしていく上での問題点を地域に広げながら迫っていこう。

愛知県知事選挙について。要求実現のために自治体をどう変えるかが問われる。名護市長選挙のような、住民の命とくらしを守るためにたたかうことが大事だ。「労働組合が



景況

女性が働き続けられる職場をつくる



水野代議員 (豊橋市職労)

保育や医療などの職場をはじめ、女性が働きながら育児を続けていくことが困難になってきている。母親大会でも報告された名古屋市の育休の正規代替制度を県下に広めたい。

賃下げ攻撃に 早めの対応が大切



北野代議員 (犬山市職労)

昨年の組合との合意のない7・8%賃下げ強行で非常に悔しい思いをした。

本部の協力のもと、早めに対応していきたい。



山本代議員 (蒲郡市職)

扶養控除額拡大で 女性の社会進出を

外形標準課税の範囲拡大阻止、女性の社会進出を阻む扶養控除の103万円の壁打破・最賃引き上げの運動に県本部がより力を入れる必要がある。

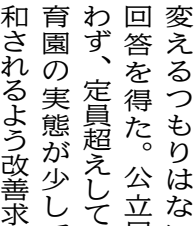
民間園との共同で 保育の改善求める



泊代議員 (豊橋市職労)

保育新制度について民

質の高い業務で 直営をアピール



深津代議員 (豊橋市職労)

組合を理解して もらうことが大事



伊藤代議員 (豊橋市職労)

「組合のことがよく分からないので辞めたい」と相談に来た青年をおきプロNEXTに誘った結果、組合の楽しさを感じ、「来年は青年部役員をやりたい」と変わってくれた。しゃべり場などを活用し、組合について理解してもらうことが大事。

財政小委員会報告

委員総数42名中23名が出席。過半数に達していることを確認した。

第2号、第3号議案、2013年度の決算、2014年度の財政案の予算案について、永井財政局長より詳細な説明を受けた上で、質疑と討論を行った。

おきプロNEXT後の予算について。自治



財政小委員長 橋岡代議員 (名古屋市職労)

研究会への青年の参加に補助金を継続して出していく。

組織拡大専任者のもう一枠の人選が必要だ。賃金闘争の予算措置について、新たな学習会の設定、単組間の情報交流、全体の賃上げへ交渉力を高める必要がある。

一般会計への繰り入れを解消するために毎年、納入人員500人の純増が必要。これらの議論を踏まえた上で第2号・第3号議案とも委員の賛成を得た。

持ち帰り・サービスマ 残業問題解決へ



笹原代議員 (名古屋市職労)

介護認定嘱託職員はみんな持ち帰り・サービスマ状態、解決できず出口の見えない状況の中で退職してしまう仲間もいた。その実情を涙ながらに訴え、昨春秋の交渉で業務量に合っていないと増員を認めさせることができた。

市民との協力・共感が 私達の力となる



橋口代議員 (名古屋市職労)

定員管理計画で、長時間残業、人減らしのための民営化がすすんでいる。退職不補充などをはね返すため、保育士が園の門前行動に立ち上がった。市民といかに協力し共感し合うかが公務員バッシングをはねかえす力となる。



松坂代議員 (蒲郡市職)

つながり意識した おきプロNEXT

おきプロNEXTへ参加し、一番感じたことは「知ろうとする大切さ」。普段交流できない他市町村とともに学び、つながりを強く意識することができた。

総会の開催で 意思統一はかる



山本中央委員 (管理職ユニオン)

管理職ユニオンの総会を開き、活動の方向性、役員体制を組み直し意思統一する。各市町村の管理職で組合に協力的な方の情報提供をお願いしたい。

県本部組織集会上で書記の参加を呼びかけ。職場の隅々に組合の風を吹かすのが書記の役割。書記の働きがいは執行部と組合員とともに活動できること。そこに確信を持つ



山岡代議員 (名古屋市職労)

職場に組合の風を 吹かすのが書記

公立保育園を減らさないで

保育「一言メッセージ大作戦」

名古屋市職労

名古屋市職労福祉支部の保育園部会は、来年4月施行予定の「子ども・子育て支援新制度」や市内の公立保育園の民間移管計画などに對する新たな行動を展開。保育士だけでなく、市民の声を市長へ届けようと父母の声を集める「一言メッセージ大作戦」を7月から開始しています。

7月29日、名古屋市北区



名古屋市北区にある公立保育園前で「一言メッセージ大作戦」に奮闘する福祉支部青年部長の坂本将取さん(写真左)

ことが判明。「えっ。この園はどうなっちゃうの」「これまで通りの保育料で通えるの」「公立保育園の質の良い保育が無くなってしまうんじゃない」と不安の声。「公立保育園を減らさないで」「営利目的の企業が保育に入ってくるのは嫌」と市長へのメッセージが多数寄せられています。

運動を通して大きな力に

福祉支部青年部長の坂本将取さんは、「民間移管が決定した園の保護者から50もの声が寄せられ、この声を伝えなくてはと感じた。地域の保育ネットワークを通じて、民間保育士や保護者とともに市全体でとりくんでいる。保育士が保護者の声を聞くことで日々の保育に活かせる。運動をきっかけにみんなの意識が変わり、組合活動にも大きな力になる」と語ってくれました。

「言いたい劇場」



セット共済 安くて安心
自治労連 掛金 1790円/月 → 病欠入院 5000円/1日

みんなで作る組合をめざして

清須市職労 全体会議

清須市職労は7月23日、「みんなで作る組合をめざそう」と全体会議・保育交流会を開催。

新人からベテランまで20人が参加しました。保育交流会では、体操や盆おどりなど、日々の保育で使える内容が盛りだくさん。参加者みんな「覚えられない」と言いながらも自然と笑みがこぼれます。

全体会議では各専門部に分かれて、活動の総括と今後の方針を確認。組織や賃金調査などの専門部活動の中で出された、みんなからの「何をしたら良いか分からない」の声に全体



「高知やさい体操」を踊る清須の仲間

親しみの持てる紙面へ

2014県本部機関紙「ソングール」

県本部機関紙コンクールの表彰式が県本部定期



優秀賞に輝いた「自治労連蒲郡市職組ニュース」

大会で行われました。今年度は、14単組24紙(1種11紙、2種6紙、3種7紙)がエントリー。「組合員の紙面参加」「編集・発行体制の強化」などを参考基準に審査が行われ、以下の機関紙が入賞しました。

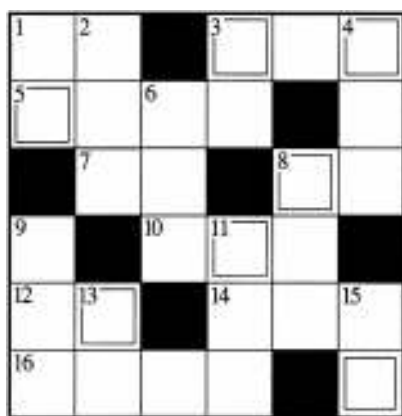
- 第1種(政令・都市職)
 - ・優秀賞「自治労連蒲郡市職組ニュース」(蒲郡市職)
 - ・入賞「学事労」(学事労)
 - ・入賞「あしなみ」(豊橋市職)
- 第2種(町村職・政令都市職の支部・分会)
 - ・優秀賞 該当なし
 - ・入賞「嘱託職員ニュース」(豊橋市職・嘱託職員連絡会)
 - ・入賞「なかしぶ」(名古屋市職・中区役所支部)
- 第3種(補助組織・職域部会)

単組定期大会 役員紹介

- 県本部青年部(7月5日)
 - 部長 森 達哉
 - 副部長 田中 智啓
 - 書記 長 望月 晶理
 - 書記 次長 市江 弥生
 - 議長 加賀 義之
- 名古屋市中区役所支部
 - 議長 加賀 義之

おたのしみプレゼントつき クロスワードパズル

カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何でしょう。



- カギを解き、二重枠に入る文字を並べてできる言葉は何でしょう。
- ①相撲の準備運動。〇〇を踏む
 - ②大相撲名古屋——
 - ③〇〇地無用
 - ④教え導く。剣道——
 - ⑤〇〇を押さえる
 - ⑥性質の違うこと。——の文化
 - ⑦車体検査の略
 - ⑧野球場のメンバー
 - ⑨小火。〇〇を出す
 - ⑩〇〇と言え
 - ⑪タテのカギ
 - ⑫〇〇実剛健
 - ⑬下水。——現場
 - ⑭朝食
 - ⑮〇〇の3食つき
 - ⑯大地震後のゆりかえし
 - ⑰遠視の対
 - ⑱白衣の——
 - ⑲要点。論文の——
 - ⑳野球チームのメンバー
 - ㉑小火。〇〇を出す
 - ㉒〇〇と言え

左のクロスワードパズルを解き、解答および名前・組合名・職場をハガキに書いて送ってください。抽選で10名に図書カード(1000円分)を贈呈します。

〒462-0845

名古屋市中区柳原3丁目7-8 自治労連愛知県本部教宣部 締め切りは9月15日必着。ハガキに近況や職場での話題、「あいちの仲間」の感想や載せてほしい話など、書き添えてください。

クイズの当選者

- 名古屋市中区役所支部(7月5日)
 - 議長 加賀 義之
 - 副議長 竹下 秀和
 - 事務局長 渡邊 恭一
 - 名古屋市中区役所支部(7月16日)
 - 議長 竹下 秀和
 - 副議長 渡邊 恭一
 - 事務局長 佐藤 信夫
 - 名古屋市中区役所支部(7月29日)
 - 議長 竹下 秀和
 - 副議長 渡邊 恭一
 - 事務局長 佐藤 信夫
 - 春日井市職労(7月31日)
 - 議長 加賀 義之
 - 副議長 竹下 秀和
 - 事務局長 佐藤 信夫
 - 港職労(7月29日)
 - 議長 竹下 秀和
 - 副議長 渡邊 恭一
 - 事務局長 佐藤 信夫
 - 春日井市職労(7月31日)
 - 議長 加賀 義之
 - 副議長 竹下 秀和
 - 事務局長 佐藤 信夫
- 名古屋市中区役所支部(7月5日)
 - 議長 加賀 義之
 - 副議長 竹下 秀和
 - 事務局長 渡邊 恭一
- 名古屋市中区役所支部(7月16日)
 - 議長 竹下 秀和
 - 副議長 渡邊 恭一
 - 事務局長 佐藤 信夫
- 名古屋市中区役所支部(7月29日)
 - 議長 竹下 秀和
 - 副議長 渡邊 恭一
 - 事務局長 佐藤 信夫
- 春日井市職労(7月31日)
 - 議長 加賀 義之
 - 副議長 竹下 秀和
 - 事務局長 佐藤 信夫
- 港職労(7月29日)
 - 議長 竹下 秀和
 - 副議長 渡邊 恭一
 - 事務局長 佐藤 信夫
- 春日井市職労(7月31日)
 - 議長 加賀 義之
 - 副議長 竹下 秀和
 - 事務局長 佐藤 信夫